

# 九州・沖縄

まるごと  
出撃拠点化

# 基地強化大軍拡ストップ!

奔走  
する

田村貴昭  
衆議院議員  
日本共産党



23年4月6日  
衆院本会議

九州・沖縄を「敵基地攻撃」の出撃拠点にしようとする基地強化・大軍拡を許していいのか、大きな争点です。住民の運動と力をあわせ、基地調査など九州各地を駆けめぐり、「基地強化・大軍拡やめよ」と国会で迫ってきたのが、日本共産党の田村貴昭議員です。



全国の在日米軍が保有する有害物質PCB(ポリ塩化ビフェニール)廃棄物を防衛省がひそかに引き取り、北九州市などで処理していた問題で、米本土に持ち帰らせるよう求めました。(24年2月28日、衆院予算委分科会)

「軍拡財源法案」反対 徹底論戦の先頭に

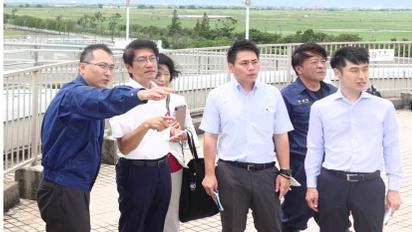
5年で43兆円の大軍拡やめよ

基地強化などの財源確保へ  
昨年の国会で、軍事費2倍化、  
5年間で43兆円もの大軍拡の  
ために新たに「防衛力強化資金」  
を創設する軍拡財源法案を自  
民・公明が強行。田村貴昭議  
員は「大軍拡のために国民に新  
たな負担を押しつけることは絶  
対に認められない」と、徹底論  
戦の先頭にたちました。

国立病院機構の積立金を  
軍事費に流用は許されない  
国立病院機構の積立金を「防衛力  
強化資金」に流用する法案に怒りが広  
がり、田村貴昭議員は、福岡県や佐賀  
県などで同機構の病院施設を視察し、  
老朽化の実態などを調査。国会で「施  
設の改善や医療従事者の待遇改善  
に使うべき積立金の軍事費流用は許  
されない」と法案撤回を求めました。



陸自・水陸機動団が創設された佐世保  
基地を視察(23年12月22日)



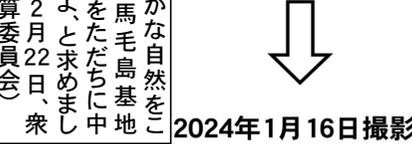
オスプレイ17機を配備  
予定の陸自・佐賀駐屯  
地建設予定地を視察  
(23年7月3日)



大矢野原演習場(熊本県山都町)で  
の日米共同訓練を視察(24年8月1日)



2022年9月4日撮影



2024年1月16日撮影

パネル③ 出典:上の写真は田村貴昭撮影、下の写真は長野広美(元市議)撮影  
2024年2月22日 衆議院予算委員会 日本共産党 田村貴昭

島まるごと  
「巨大基地島」  
建設、許せない



米空母艦載機離着陸訓練のため  
の馬毛島基地建設工事を海上から  
調査(24年2月24日)



航空自衛隊築城基地  
での日米共同訓練に  
抗議(23年7月7日)



人口密集地にミサイル・弾薬庫  
を建設する陸自・大分分屯地  
を住民と調査(23年8月4日)

「分屯地から3キロ以内に  
は5つの小学校や大分大  
学、大分工業高校がある  
住宅密集地だ」と指摘。  
長射程ミサイル・大型爆  
弾を配備する弾薬庫新設  
など基地強化計画を  
批判しました。(23年3月29  
日、衆院財務金融委員会)



F35B配備、司令部の  
地下化など強じん化が進む空自・  
新田原基地を視察  
(24年5月27日)



名護市辺野古の米軍  
新基地建設、工事強行  
を海上から抗議(23年  
9月28日)

九州・沖縄  
の基地強化  
主な動き

- 水陸機動団の新設・増強(陸自・大分玖珠駐屯地、長崎・崎辺分屯地、相浦駐屯地、竹松駐屯地)
- 地対艦ミサイル連隊を創設へ。将来スタンド・オフ・ミサイル配備で調整(陸自・湯布院駐屯地)
- 大型弾薬庫の新設(陸自・大分分屯地)、巡航ミサイル保管想定
- 米軍が偵察用無人機を運用(海自・鹿屋基地)
- 最新鋭ステルス戦闘機F35B配備へ(空自・新田原基地)
- 佐賀空港隣接地に陸自・駐屯地を新設、オスプレイ17機配備へ
- 馬毛島自衛隊基地を着工、米軍機訓練を移転
- 陸自・石垣駐屯地を開設、ミサイル部隊配備
- 奄美大島、宮古島、石垣島に12式地対艦誘導弾を配備
- 地対艦ミサイル連隊を新設(陸自・沖縄勝連分屯地)
- 名護市辺野古の米軍新基地建設

防衛力強化のために整備する「特定利用空港・港湾」全国28カ所のうち九州・沖縄は18カ所  
=2024年8月26日時点

九州・沖縄で

総選挙 比例名簿登載予定者  
比例2議席を

勝利を!  
オール沖縄



沖縄1区選出  
赤嶺政賢  
衆議院議員



比例選出  
田村貴昭  
衆議院議員



鹿児島2区重複  
まつざき真琴  
元鹿児島県議



比例代表  
しまぶく恵祐  
前沖縄県議

制度解説  
比例代表は「日本共産党」と政党名で

九州沖縄民報  
2024年10月号外

発行/日本共産党国会議員団  
九州沖縄ブロック事務所

福岡市中央区薬院3-13-12大場ビル3階  
ホームページ <http://kyuoki.starfree.jp/>  
\*日本共産党は以上の見解を発表しました。



# 沖縄を二度と戦場にさせない 基地なくし 安全 豊かな沖縄へ

保守、中道、革新、無党派の立場をこえた

[沖縄1区] オール沖縄の代表  
**あかみね政賢** せいけん 日本共産党 衆議院議員

「沖縄の心」  
つらぬき  
政府を追及

## オスプレイ墜落事故 屋久島沖 欠陥機は飛行再開させるな



昨年11月の屋久島沖への墜落以降、飛行を全面的に停止していたオスプレイが、今年3月、地元自治体・住民の同意なく一方的に飛行再開されました。事故の原因となった部品の不具合が確認されたのは初めてで、なぜ不具合が起きたのか、調査は継続中でした。  
あかみね議員は「事故原因がわかっていないにもかかわらず、飛行を再開するなど到底許されない」と飛行再開の取り下げを求めました。

## 高濃度汚染物質PFOS検出 使用中止、立入調査を 嘉手納基地

米軍嘉手納基地周辺の河川を水源とする北谷浄水場で高濃度の残留性有機汚染物質PFOSが検出されました(沖縄県企業局が2016年1月に公表)。あかみね議員は同年2月、現地調査を行い、衆院予算委分科会で質問。以来、PFOS含有の消火剤の使用中止と、沖縄県が求める基地内への立ち入り調査の実現をくり返し求めてきました。



## 米兵が少女誘拐・暴行事件 半年間 県にも伝えず 厳しく抗議し、謝罪求める



昨年12月、米軍嘉手納基地所属の米兵が16歳に満たない少女を誘拐し、性的暴行を加える凶悪事件が発生。あかみね議員は、外務省が半年もの間、公表せず、沖縄県にも通報しなかったために県は抗議要請もできず、米軍は何の対策もとらず、あつてはならない事件が立て続けに発生したと批判し、「外務省の責任は重大だ。被害者と県民に謝罪すべきだ」と求めました。



環境保全措置等に要する経費	約700億円
仮設工事	約2000億円
護岸工事	約1500億円
埋立工事	約3600億円
付帯工事	約125億円
飛行場施設整備に要する経費	約625億円
キャンプ・シュワブ再編成工事に要する経費	約750億円
合計	約9300億円

▲辺野古新基地建設やめよと質問  
(23年11月22日、衆院予算委員会)

政府が今後12年で新基地は完成するとしていることについて、水深の浅い辺野古側の埋め立て工事でも軟弱地盤で工事長期化、戦没者遺骨が残る土砂で埋め立ては理不尽  
想定10倍の期間を要していることを示し、軟弱地盤が広がる大浦湾側の長期化は必至だと追及。  
戦没者の遺骨が残る沖縄本島南部の土砂を辺野古の埋め立てに使用する計画について、「戦没者の無念と遺族の心情に寄り添って、この地域の土砂を埋め立てに使用するのにはやめるよう指示すべきだ」と岸田首相(当時)に要求。「こんな理不尽なことをしないうり完成できない基地の建設はやめるべきだ」と、普天間基地の無条件撤去を求めています。(24年2月26日、予算委員会)



市民集會にそろって参加した「オール沖縄」の国会議員

9条改憲・超タカ派・大軍拡推進の石破政権が誕生しました。初当選以来8期24年、辺野古新基地建設に反対の論陣をはり、憲法審査会で改憲を押しとどめる役割を果たしてきたのが、あかみね政賢議員—いまこそ出番の時です。

辺野古の埋め立て工事の進捗率が14%にすぎないのに、すでに予定額3600億円の47%にあたる1704億円を支出し(22年度時点、総事業費は9300億円)、このまま続けられれば莫大な予算を投じることになると追及。  
普天間基地が現在のような危険な基地になったのは日米両政府による基地のたらい回しの結果だとして、普天間の苦しみは移すのではなく、なくすべきと訴えています。(23年11月22日、予算委員会)



辺野古座り込み10年、県民大行動で声あげる「オール沖縄」の国会議員(2024年7月6日、キャンプ・シュワブゲート前の集會)

辺野古新基地建設やめよ  
普天間は即時・無条件撤去を

## うるま陸自訓練場計画断念に追い込む

党派をこえた県民の運動と力あわせ  
国会でくり返し中止求める

昨年末、うるま市石川のゴルフ場跡地への陸自訓練場の建設計画が突如報じられ、党派をこえた反対運動が急速に広がりました。あかみね議員は国会で、ずさんな候補地選定の経緯を明らかにするなど4回にわたって追及し、計画の撤回・断念を要求。県民の団結の力で、計画の断念をかちとりました。



住民の代表(自衛隊訓練場設置計画の断念を求める会)と防衛省要請